



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場会社名 株式会社 インテージホールディングス
 コード番号 4326 URL <http://www.intageholdings.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮首 賢治
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務IR部担当 (氏名) 池谷 憲司
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

TEL 03-5294-7411

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	19,338	4.5	1,317	49.7	1,255	54.6	2,085	473.2
26年3月期第2四半期	18,505	2.0	880	△16.7	811	△18.5	363	△27.1

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 2,080百万円 (280.2%) 26年3月期第2四半期 547百万円 (3.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	103.87	—
26年3月期第2四半期	18.09	—

(注)

1. 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。
 2. 平成27年3月期第2四半期の1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に、役員向け株式給付信託として保有する当社株式を含めております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	31,613		18,747		58.9	
26年3月期	33,740		17,171		50.5	

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 18,615百万円 26年3月期 17,025百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	27.50	27.50
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	3.5	3,600	2.7	3,500	3.5	2,900	76.6	145.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	20,118,000 株	26年3月期	20,808,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	159,752 株	26年3月期	695,052 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	20,082,515 株	26年3月期2Q	20,112,980 株

(注)

1. 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済み株式数(普通株式)を算定しております。
2. 平成27年3月期第2四半期の期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に、役員向け株式給付信託として保有する当社株式を含めております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国・資源国経済の成長鈍化、欧州経済の債務問題の帰趨といった世界情勢の影響が懸念されたものの、政府による積極的な財政・金融政策の効果により、企業収益が改善し、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響も緩和するなど、総じて緩やかな回復基調が続きました。

このような状況の中、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高19,338百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益1,317百万円（同49.7%増）、経常利益1,255百万円（同54.6%増）、四半期純利益は2,085百万円（同473.2%増）となりました。

なお、当社の連結子会社である株式会社アスクレップが平成26年6月2日を効力発生日として、臨床開発事業及びこれに付随する事業を株式会社アスクレップが新たに設立した100%子会社であるエイツーヘルスケア株式会社に承継し、同日、同社の発行済株式の全部を伊藤忠商事株式会社に対して譲渡いたしました。これに伴い、関係会社株式売却益として2,911百万円の特別利益を計上しております。

事業分野別の状況は次のとおりであります。

① 市場調査・コンサルティング事業

市場調査・コンサルティング事業は、株式会社インテージにおいてSCI（全国個人消費者パネル調査）、i-SSP（インテージシングルソースパネル）、SRI（全国小売店パネル調査）といった主要パネルや、株式会社医療情報総合研究所の処方情報分析サービスの売上が前期を上回ったことなどにより、増収増益となりました。

この結果、市場調査・コンサルティング事業の連結業績は、売上高14,660百万円（前年同期比10.8%増）、営業利益1,099百万円（同17.7%増）となりました。

② システムソリューション事業

システムソリューション事業は、前期に引き続き、株式会社インテージおよび株式会社インテージテクノスフィアにおける受注状況が好調に推移したことにより、増収増益となりました。

この結果、システムソリューション事業の連結業績は、売上高2,507百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益は242百万円（同155.9%増）となりました。

③ 医薬品開発支援事業

医薬品開発支援事業は、株式会社アスクレップにおいて臨床開発事業及びこれに付随する事業を譲渡したことにより減収となったものの、顧客ニーズに対応したEDC（電子的臨床検査情報収集）システムの受注が好調に推移したことにより、損益は大幅に改善いたしました。

この結果、医薬品開発支援事業の連結業績は、売上高2,169百万円（前年同期比26.4%減）、営業損失24百万円（前年同期の営業損失は148百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,836百万円減少し、19,889百万円となりました。これは、仕掛品が1,590百万円増加したものの、現金及び預金が454百万円、受取手形及び売掛金が2,948百万円減少したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ290百万円減少し、11,723百万円となりました。これは、のれんが279百万円減少したことなどによるものです。

この結果、総資産は2,126百万円減少し、31,613百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ3,157百万円減少し、9,524百万円となりました。これは、短期借入金が3,738百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ545百万円減少し、3,341百万円となりました。これは、退職給付に係る負債が426百万円減少したことなどによるものです。

この結果、負債合計は3,703百万円減少し、12,865百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,576百万円増加し、18,747百万円となりました。これは、利益剰余金が1,302百万円増加し自己株式が311百万円減少したことなどによるものです。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動にて932百万円、投資活動にて3,305百万円獲得し増加しましたが、財務活動にて4,662百万円使用した結果、前連結会計年度末に比べ438百万円減少し、7,487百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金収支は932百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ57百万円の収入減少となりました。これは主に、売上債権の減少額が増加したものの、たな卸資産の増加額が増加し法人税等の支払額が増加したことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金収支は3,305百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ3,777百万円の収入増加となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入が発生したことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金収支は△4,662百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ4,118百万円の支出増加となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期通期業績予想の詳細につきましては、平成26年11月6日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を残存勤務期間に基づく割引率を使用する方法から退職給付の支給見込期間及び支給見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、第1四期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産及び利益剰余金が、それぞれ174,948千円、298,920千円増加し、退職給付に係る負債及び繰延税金資産が、それぞれ289,574千円、165,602千円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の損益、セグメント情報及び1株当たり情報に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,943,759	7,489,552
受取手形及び売掛金	9,830,446	6,882,262
仕掛品	1,453,724	3,043,984
貯蔵品	45,682	36,643
繰延税金資産	1,132,052	1,220,357
その他	1,321,189	1,217,510
貸倒引当金	△519	△498
流動資産合計	21,726,335	19,889,812
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,856,383	1,706,397
器具備品(純額)	416,366	355,504
土地	1,998,156	1,998,156
リース資産(純額)	720,746	674,316
その他(純額)	0	0
有形固定資産合計	4,991,652	4,734,374
無形固定資産		
のれん	1,345,256	1,065,716
その他	1,222,813	1,169,272
無形固定資産合計	2,568,070	2,234,988
投資その他の資産		
投資有価証券	965,748	1,314,579
繰延税金資産	1,373,076	1,169,344
退職給付に係る資産	827,425	1,031,683
その他	1,287,736	1,251,769
貸倒引当金	-	△13,446
投資その他の資産合計	4,453,986	4,753,931
固定資産合計	12,013,710	11,723,294
資産合計	33,740,045	31,613,107

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,421,006	2,158,288
短期借入金	3,893,056	154,567
リース債務	314,165	302,272
未払法人税等	1,407,293	1,645,695
賞与引当金	1,505,417	1,546,621
ポイント引当金	867,010	945,074
役員賞与引当金	3,000	4,000
資産除去債務	-	139,100
その他	2,270,995	2,628,405
流動負債合計	12,681,944	9,524,026
固定負債		
長期借入金	37,000	-
役員退職慰労引当金	29,000	4,000
退職給付に係る負債	3,321,845	2,895,472
リース債務	498,712	441,729
固定負債合計	3,886,557	3,341,202
負債合計	16,568,501	12,865,228
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,681,400	1,681,400
資本剰余金	1,336,688	1,336,688
利益剰余金	14,012,756	15,315,251
自己株式	△533,097	△221,931
株主資本合計	16,497,746	18,111,407
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,738	19,701
為替換算調整勘定	350,706	272,696
退職給付に係る調整累計額	155,211	211,643
その他の包括利益累計額合計	527,656	504,041
少数株主持分	146,140	132,429
純資産合計	17,171,543	18,747,878
負債純資産合計	33,740,045	31,613,107

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	18,505,733	19,338,252
売上原価	13,859,772	13,863,514
売上総利益	4,645,960	5,474,738
販売費及び一般管理費	3,765,887	4,156,914
営業利益	880,073	1,317,823
営業外収益		
受取利息	2,985	994
受取配当金	25,317	29,866
受取保険金及び配当金	2,213	17,187
その他	29,764	14,323
営業外収益合計	60,280	62,372
営業外費用		
支払利息	24,098	18,811
持分法による投資損失	64,856	91,671
支払手数料	5,602	13,226
器具備品等除却損	2,816	406
為替差損	20,626	-
その他	10,443	563
営業外費用合計	128,443	124,679
経常利益	811,910	1,255,517
特別利益		
関係会社株式売却益	-	2,911,668
負ののれん発生益	-	5,877
特別利益合計	-	2,917,546
特別損失		
事業譲渡損	13,626	-
減損損失	-	178,398
特別退職金	-	131,420
退職給付制度終了損	-	284,838
その他	-	10,916
特別損失合計	13,626	605,572
税金等調整前四半期純利益	798,284	3,567,490
法人税、住民税及び事業税	514,690	1,543,175
法人税等調整額	△69,097	△81,208
法人税等合計	445,593	1,461,967
少数株主損益調整前四半期純利益	352,690	2,105,523
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△11,227	19,620
四半期純利益	363,918	2,085,903

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	352,690	2,105,523
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△1,336	△2,036
為替換算調整勘定	195,924	△80,875
退職給付に係る調整額	-	58,342
その他の包括利益合計	194,587	△24,569
四半期包括利益	547,278	2,080,953
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	556,589	2,062,288
少数株主に係る四半期包括利益	△9,311	18,665

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	798,284	3,567,490
減価償却費	725,381	673,223
減損損失	-	178,398
のれん償却額	96,524	98,212
退職給付引当金の増減額(△は減少)	46,804	-
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	-	△204,258
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	△425,811
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	-	△25,000
賞与引当金の増減額(△は減少)	112,811	182,500
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,731	1,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,699	13,446
ポイント引当金の増減額(△は減少)	58,084	78,064
受取利息及び受取配当金	△28,303	△30,861
支払利息	24,098	18,811
持分法による投資損益(△は益)	64,856	91,671
器具備品等除却損	2,816	406
関係会社株式売却損益(△は益)	-	△2,911,668
負ののれん発生益	-	△5,877
特別退職金	-	131,420
退職給付制度終了損	-	284,838
売上債権の増減額(△は増加)	1,903,296	2,472,015
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,004,328	△1,819,777
仕入債務の増減額(△は減少)	△139,147	△224,970
未払消費税等の増減額(△は減少)	△101,027	30,010
その他	△468,333	175,159
小計	2,083,385	2,348,444
利息及び配当金の受取額	27,933	31,605
利息の支払額	△24,262	△18,811
特別退職金の支払額	-	△131,420
法人税等の支払額	△1,096,863	△1,296,973
営業活動によるキャッシュ・フロー	990,193	932,845

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	△26,944
定期預金の払戻による収入	80,000	-
有形固定資産の取得による支出	△118,129	△129,959
無形固定資産の取得による支出	△229,261	△284,707
投資有価証券の取得による支出	△1,025	△451,490
貸付金の回収による収入	956	1,371
長期貸付金の回収による収入	-	47,320
関係会社株式の売却による収入	-	21,644
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△186,641	△82,698
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	-	4,210,041
差入保証金の回収による収入	11,040	14,456
差入保証金の差入による支出	△32,093	△25,079
その他	3,517	11,508
投資活動によるキャッシュ・フロー	△471,636	3,305,459
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	886,299	-
短期借入金の返済による支出	△809,200	△592,046
長期借入れによる収入	100,000	-
長期借入金の返済による支出	△59,000	△3,173,000
少数株主からの払込みによる収入	34,300	18,159
リース債務の返済による支出	△193,646	△165,892
自己株式の取得による支出	△41	△218,057
配当金の支払額	△502,021	△531,183
少数株主への配当金の支払額	△1,300	△800
財務活動によるキャッシュ・フロー	△544,610	△4,662,819
現金及び現金同等物に係る換算差額	87,873	△14,072
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	61,819	△438,586
現金及び現金同等物の期首残高	5,906,046	7,926,449
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,967,866	7,487,862

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (千円)
	市場調査・コンサルティ ング (千円)	システムソリュー ション (千円)	医薬品開発支援 (千円)	
売上高				
外部顧客への売上高	13,227,035	2,330,870	2,947,826	18,505,733
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	13,227,035	2,330,870	2,947,826	18,505,733
セグメント利益又は損失(△)	934,120	94,711	△148,758	880,073

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (千円)
	市場調査・コンサルティ ング (千円)	システムソリュー ション (千円)	医薬品開発支援 (千円)	
売上高				
外部顧客への売上高	14,660,671	2,507,602	2,169,978	19,338,252
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	14,660,671	2,507,602	2,169,978	19,338,252
セグメント利益又は損失(△)	1,099,833	242,342	△24,352	1,317,823

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。